

野菜・花き生産を支える技術開発をめざして



富山県農林水産総合技術センター **園芸研究所**

Toyama Prefectural Agricultural, Forestry & Fisheries Research Center

Horticultural Research Institute

〒939-1327 富山県砺波市五郎丸 288

TEL : 0763-32-2259 FAX : 0763-33-2476

機構

農林水産総合技術センター

- 企画管理部
- 農業研究所
- 園芸研究所
- 果樹研究センター
(魚津市六郎丸)
- 畜産研究所
- 食品研究所
- 森林研究所
- 木材研究所
- 水産研究所

野菜課

花き課

チューリップ遺伝資源センター



<野菜課>

- 1億円品目を核とした耕地の高度利用(アスパラガス等)
- 栄養繁殖性野菜及び県育成品種の選抜と保存(ネギ、サトイモ、イチゴ)
- 1億円産地づくり戦略のステップアップ技術開発(タマネギ、エダマメ、サトイモ、ニンジン、リーキ)
- 夏秋どい「富山しろねぎ」の品質向上技術開発(黄色斑紋病斑対策)
- 野菜栽培における施肥の適正化(エダマメ、ニンジン、フロッキー、軟弱野菜)
- 加工用キャベツ等の安定生産技術の確立(加工用キャベツ、加工用青ネギ)
- 短葉性ネギ「越中なつ小町」、「越中ふゆ小町」の効率的な採種技術の確立



アスパラガス1年株養成伏せ込み栽培



タマネギの直播栽培



白ネギの黄色斑紋病斑



加工用キャベツ栽培

<花き課>

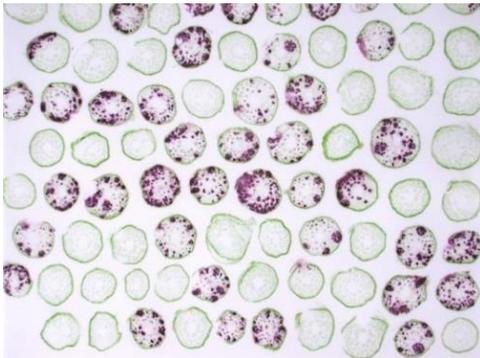
- チューリップ新品種育成
- チューリップ育成系統の特性検定試験
- チューリップ球根の超省力・高効率栽培技術の確立
- チューリップ主要病害対策試験
- チューリップ球根の地球温暖化に対応した適正な貯蔵温度の検証
- 切り花の安定生産技術試験(キク等)



チューリップの交配



チューリップの植付け



血清学的手法によるウイルス検出



キク栽培試験ほ場

<チューリップ遺伝資源センター>

- チューリップ遺伝資源の収集・保存
- チューリップ遺伝資源の特性評価



チューリップ遺伝資源品種保存圃

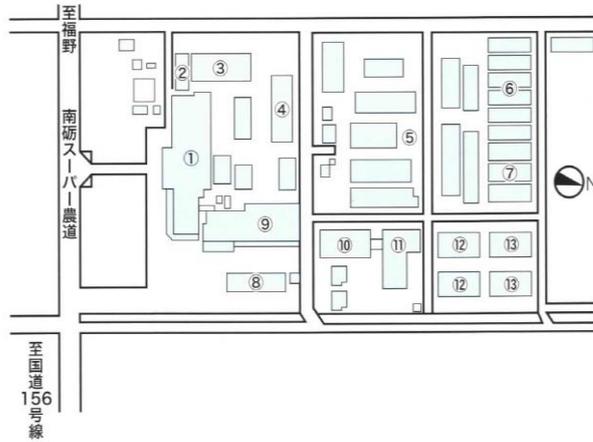


チューリップ遺伝資源特性調査

施設・圃場配置図

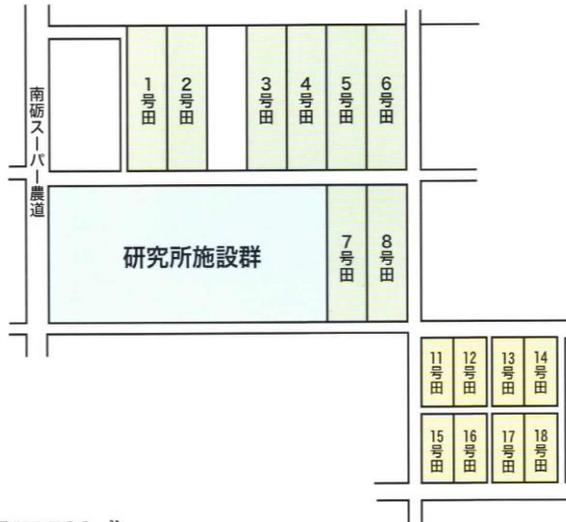
◆施設配置図

- ① 園芸研究所本館
- ② 温度処理棟
- ③ 球根乾燥貯蔵庫
- ④ 野菜収納資材倉
- ⑤ 温室
- ⑥ パイプハウス
- ⑦ 大型ハウス
- ⑧ 農用機械庫
- ⑨ チューリップ遺伝資源センター管理棟
- ⑩ 球根貯蔵庫
- ⑪ 農作業場
- ⑫ 検定温室
- ⑬ 隔離網室



◆圃場配置図

- 園芸研究所圃場
: 1～8号田
- チューリップ遺伝資源センター圃場
: 11～18号田



用地面積

総面積 79,549㎡
 建物敷地 22,744㎡
 圃場 56,805㎡(うち遺伝資源圃場17,520㎡)

沿革

- 昭和11年(1936) 砺波市花園町に富山県立農事試験場出町園芸分場を設置
- 昭和22年(1947) チューリップ育種のため、農林省富山農事改良実験所を併設
- 昭和26年(1951) 同実験所を県に移管し、農林省指定試験事業となる
- 昭和27年(1952) 富山県農業試験場砺波園芸分場に改称
- 昭和37年(1962) 魚津果樹分場の設置に伴い、果樹部門を移管
- 昭和56年(1981) 砺波市五郎丸に移転し、花き球根病害部門が編入
- 昭和57年(1982) 富山県農業試験場野菜花き試験場に改称
- 昭和61年(1986) 富山県農業技術センター野菜花き試験場に改称
- 平成7年(1995) チューリップ遺伝資源センターを併設
- 平成20年(2008) 富山県農林水産総合技術センター園芸研究所に改称

所在地

